

河川砂防技術研究開発公募 地域課題分野（砂防）

平成26年度採択テーマ

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
焼岳における融雪型火山泥流の危険度評価法の確立 (研究期間：H26年～H28年)	京都大学 堤 大三	A
<p>&lt;研究概要&gt;</p> <p>融雪により発生する火山泥流の発生機構の実態を解明するため、融雪実験の結果に基づき融雪・不飽和浸透過程の検討を実施した。この検討に基づき不飽和浸透速度の時間的変化を考慮した火山泥流の発生機構をモデル化し、泥流挙動をシミュレートすることにより、高精度な泥流到達危険度評価手法の開発を目的とする。</p>		
<p>&lt;事後評価コメント&gt;</p> <p>本研究は、熱土砂供給による融雪・浸透に関する鉛直一次元実験から、融雪・積雪層内の浸透を経て地盤に到達する融雪水量を把握し、融雪プロセスを表す物理モデルを提示することにより、融雪型火山泥流のシミュレーションに用いるハイドログラフの改良や融雪型火山泥流の規模予測の精度向上が期待できる。</p> <p>今後は、熱の移流を考慮したモデルの高度化、二次元的な現象の解明、積雪密度の適正評価など、予測精度の向上に向けた検討を進めて頂きたい。</p>		

※評価基準

- A：研究目的は達成され、十分な研究成果があった
- B：研究目的は概ね達成され、研究成果があった
- C：一定の研究成果があった
- D：研究成果があったとは言い難い